

気仙沼 NN 通信

「気仙沼 NN 通信」は、気仙沼地方振興事務所農業農村整備部の広報広聴活動の一環として、主に気仙沼管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせするものです。掲載内容についてお問い合わせなどありましたら、お気軽に当部（農村整備第二班）まで御連絡ください。



【 農山漁村地域復興基盤総合整備事業（ほ場整備） ：南三陸地区（廻館工区）での田んぼアート】

当管内では、農山漁村地域復興基盤総合整備事業（ほ場整備）として2地区（10工区）で工事が進められ、30～50アールに整備した農地が誕生しています。

南三陸地区「廻館工区」では、去年に引き続き廻館営農組合が中心となって、田植えイベントが開催されました。約40アールの水田に茶色と黄色の古代米、ひとめぼれの3種類の苗を植付けし、田んぼアート「オクトパス君」が描かれました。当日は地元の学校や民間企業などから多くの参加者が集まり、約130名の方々に協力をいただきました。去年は強風により稲が倒れてしまいましたが、今年は色もはっきりと現れ、きれいに完成しました。



田植えの様子（H30.5.27撮影）



田んぼアート（H30.7.2撮影）



【 農山漁村地域復興基盤総合整備事業（ほ場整備） ：気仙沼地区（杉ノ下工区）の水稲・ネギ作付け】

気仙沼地区「杉ノ下工区」では、水田約2.5ヘクタールの整備が完了し、東日本大震災後初めてとなる水稲の作付けが行われました。また、5月には「南三陸ねぎ」が約8ヘクタールの畑に作付けされ、去年と比較し倍以上の作付面積となりました。

さらに、イチゴ栽培についても今年の出荷に向けて、施設整備が進められています。



南三陸ねぎ作付



水稲作付



【 集落体制づくり支援事業 ：気仙沼市上甘一地区への援農ボランティア】

6月9日に、援農ボランティア受け入れ体制支援として、気仙沼市上甘一地区で水田の除草ボランティア活動を実施しました。

総勢20名ほどの参加者が各農家の水田に入り泥に足をとられながらも、稲と稲の間に生えている雑草を手押しの除草機でかき混ぜながら、約4haの作業を行いました。

昼食では上甘一地区で収穫した米を使用した炊き込みご飯などの弁当が振る舞われ、参加者は中山間地域の自然豊かな情景を堪能していました。



除草作業の様子



手押し除草機



【 南三陸町入谷地区：水田の生きもの観察会】

7月3日に、新童子下集落及び南三陸米地産地消推進協議会の主催により、水田に生息する生きもの観察会が行われました。

入谷小学校の児童11名の他、JA南三陸の関係者など計30名の方々が参加しました。児童の皆さんは、発見した生きもの名前を尋ねたり、観察用の虫かごの中でも快適に過ごせるように葉や木の棒を入れたり、生態についても積極的に学ぼうとしていました。

その後、南三陸米の試食会でおにぎりを一人2つつつ試食していましたが、児童の中からは更におかわりとの声上がり、南三陸米の美味しさを存分に味わっていました。



採集の様子



南三陸米の試食会

宮城県気仙沼地方振興事務所農業農村整備部（編集：農村整備第二班）

〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6

TEL：0226-25-8106

FAX：0226-22-1608

URL：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-m/>



だて正夢

平成30年秋本格デビュー